

【テーマ】 「地域と“共に”ある学校」づくり ～地域を担う人材育成～

1 周南市のコミュニティ・スクールについて

○なぜコミュニティ・スクールなのか

情報化、少子高齢化、核家族化など子供たちをとりまく教育環境が激しく変化し、児童虐待、子供たちの規範意識や社会性、いじめや不登校などの問題が見られるようになった。

子供や学校が抱える課題の改善や未来を担う子供たちの豊かな成長のためには学校、家庭、地域が一体となった社会総がかりでの教育の実現が不可欠である。

○周南市のコミュニティ・スクールの経緯

周南市では、平成24年に市内すべての小中学校をコミュニティ・スクールに指定し、学校と地域がつながり、地域の子供たちのために特色を生かした様々な取組がなされてきた。

○現在の周南市のコミュニティ・スクールの取組

学校と地域の横のつながり、小学校と中学校の縦のつながりを紡ぎ合わせることで、学校と地域が一体となって9年間の義務教育を通して子供たちを育む「地域と“共に”ある学校」づくりを目指している。

「学校運営協議会会長会議」「統括コーディネーター、地域連携担当教員等合同研修会」「地域とともにある学校づくり推進協議会」などを開催し、人材育成や地域のネットワークづくりに努めている。

2 コミュニティ・スクールの具体的な取組

○地域を担う人材育成につながる取組の紹介

小学校では、地域の方々の「学校支援」を通して、豊かな体験や深い学びが実現してきている。

中学校では、ボランティア活動や地域行事に参画し、地域の一員として地域に貢献する姿が見られるようになった。

地域住民と子供たちの距離が縮まり、温かいふれあいが実現している。

(別紙資料参照)

3 コミュニティ・スクールの成果と課題

○周南市のコミュニティ・スクールの成果と課題

成果の例

- ・子供たちにとって、学びや体験活動が充実した。
- ・子供たちにとって、自己肯定感や思いやりの心が育った。
- ・子供たちにとって、安心・安全に生活できる環境となった。
- ・学校にとって、地域資源や人材を活用し、教育活動が充実した。
- ・教職員にとって、子供と向き合う時間が増え、子供のよい面を発見できた。
- ・地域住民にとって、学校等に集まる機会が増え、住民間のつながりを深めることができた。
- ・地域住民にとって、技術や経験を発揮する機会が増え、やりがいや自己有用感を得た。 など

課題の例

- ・コミュニティ・スクールを多くの住民に浸透させ、協力を得ること。
- ・取組を充実させるための予算・時間を確保すること。
- ・打ち合わせや子供の引率による業務量の増加。

○コミュニティ・スクールへの子供の声・教職員の声・地域の声

子供

- ・「地域の人がよくほめてくれるのでうれしい。」
- ・「地域の方のおかげで、新しいことがわかった。」

教職員

- ・「自信をもつ子、あこがれの気持ちをもつ子が増えた。」
- ・「環境整備では大いに助けられ、感謝している。」

地域

- ・「回数を重ねることで子供と顔見知りになり、うれしい。」
- ・「あいさつはもう少し元気な声で。一緒に地域を盛り上げた
い。」

4 周南市のコミュニティ・スクールがめざすもの

- 学校と地域が育てたい子ども像を共有し、地域の特色や強みを生かした「学校づくり」に向けて主体性のある取組を実践することで、地域の絆がより深まり、子供たちの「ふるさとを愛する心」を育み、地域の担い手としての人材を育成する。

地域人材の育成についての取組

小学校



【敬老会ボランティア】

地域の敬老会に、6年生がボランティアとして参加した。席に案内をしたり、会場の片付けをしたりして、地域の行事に参加した。（今宿小）



【敬老会での発表】

地域の敬老会で、3年生が「菊川ソーラン」の演技を披露した。また、6年生がお祝いの言葉を発表し、喜びの声をたくさんいただいた。（菊川小）



【地域の祭への出演】

様々な地域のイベントに児童が出演して盛り上げている。また、高学年を中心にボランティアとして参加する児童も多い。（夜市小）



【少年消防クラブの活動】

地区消防団の指導の下、4年以上の有志で少年消防クラブを結成。地区運動会などの地域行事や市出初め式においてポンプ操法を披露するなど、地域ぐるみで活動している。（戸田小）



【地域の方との道徳授業】

豊かな心を育てることを目標とし、全教育活動を通して道徳教育を推進する中で、地域の方にも授業に参加していただき、郷土を大切に作る心を育てた。（岐山小）



【地域清掃】

小中連携ふれあいボランティア清掃では、中学生と一緒に地域の清掃活動をした。枯れ葉をたくさん集めて、お世話になっている地域をきれいにする事ができた。（秋月小）

中学校



【地域清掃】

クリーンアップ作戦（地域の清掃活動）では、小中学生がボランティアとして積極的に活動している。（鹿野中）



【地域の祭りの運営】

2年生全員で菊川まつりの企画・運営を地域の方と一緒にこなした。（菊川中）



【人権講演会】

市の各地域人権教育推進協議会とタイアップして、毎年人権教育講演会を実施している。校区内の小・中学生・高校生・地域住民を対象とし、豊かな心を育む教育を地域を挙げて推進している。（須々万中）



【あいさつ運動】

小中合同学校運営協議会で、「富田あいさつの日」を決定し、中学生が校区内の小学校に出向いてあいさつの活性化を図っている。（富田中）



【合同防災訓練】

地域防災訓練を、小学校、中学校、公民館で合同でおこない、中学生が地域の一員としての役割を果たした。（和田中）



【地域行事参画】

約170名の生徒が健全育成を目的とした地域行事「周南こどもゆめまつり」にボランティアとして活動し郷土愛を育んだ。（熊毛中）

その他

<学力向上についての取組>

【中学校】 土曜日やテスト週間の放課後を活用し、希望する生徒の自主勉強をサポートする。学校を会場として行うことが多く、地域の方々、大学生、高校生もサポーターとして参加している。

【小学校】 地域の方がかけ算九九の確認をしたり、自主学习ノートの丸付けを手伝ったりする活動をしている。
夏休みの学習会に中学生がサポーターとして参加し、小学生との交流を深めている取組もある。



その他、絵本の読み聞かせ、家庭科や図工のサポート、水泳の監視補助など授業に地域の方が入ってサポートしている。



<伝統文化の継承>

地域で受け継がれている伝統芸能を子供たちが地域の方から教えてもらい、地域で大切にしてきた文化を引き継いでいる。さらに、教えていただいた成果を様々な場面で披露し、地域の方々に感謝の気持ちを伝えている。

